GReddy

PRofec

取扱早見表

ご使用の前に、必ず、別冊の取扱説明書をよくお読みになり、
理解された上で正しくお使い下さい。

TRUST

もくじ

１．取り付け方法……………………………………………………………Ｐ２～Ｐ５

２．セレクターの設定…………………………………………………………Ｐ６

３．各部の名称…………………………………………………………………Ｐ７～Ｐ８

４．操作の流れ…………………………………………………………………Ｐ９

５．各表示・設定の早見表……………………………………………………Ｐ10～Ｐ12

６．「Ｐ１」の学習のこつ ……………………………………………………Ｐ13

７．随時自動学習のこつ………………………………………………………Ｐ14

８．トラブルシューティング…………………………………………………Ｐ15

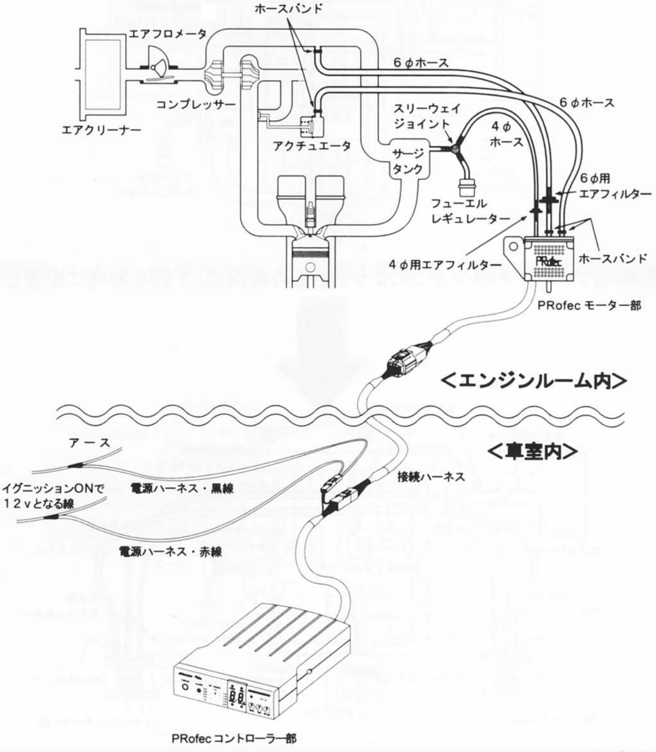
1．取り付け方法

⚠ 注　意

⚠ モーター部は、排気管周りなどの高温となる場所を避け、必ず、サージタンク側やエアクリーナーの周りなど、風通しの良い場所に取り付けて下さい。ブーストが安定しないなど、誤作動の原因となります。（配管が長くなることよりも、風通しの良い場所に取り付けることを優先して下さい。）

アクチュエータ（スイングバルブ）タイプの場合

下図を参考に配線・配管して下さい。
（過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両への配管は、3 ～ 4 ページ参照）



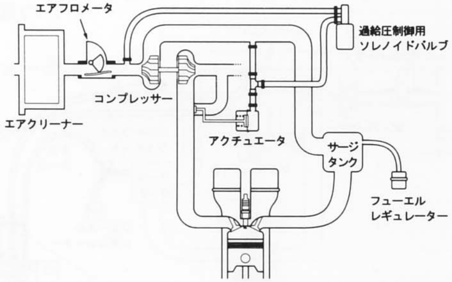
1．取り付け方法

⚠ 注 意

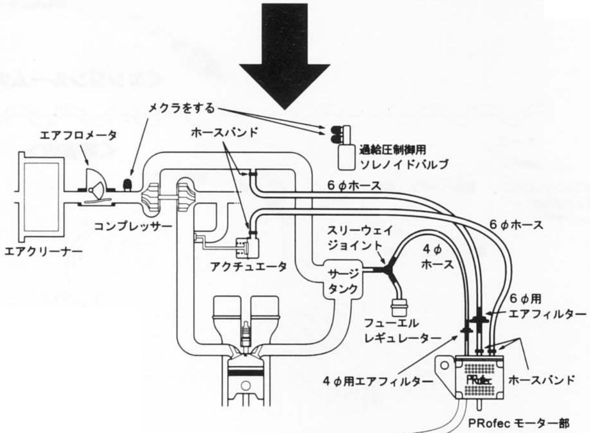
⚠ モーター部は、排気管周りなどの高温となる場所を避け、必ず、サージタンク側やエアクリーナーの周りなど、風通しの良い場所に取り付けて下さい。ブーストが安定しないなど、誤作動の原因となります。（配管が長くなることよりも、風通しの良い場所に取り付けることを優先して下さい。）

アクチュエータ（スイングバルブ）タイプの場合

過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両の配管例①



過給圧制御用ソレノイドバルブがこのような配管の車両は、下図を参考に配管して下さい。



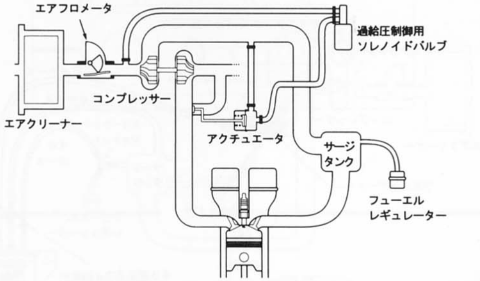
1．取り付け方法

⚠ 注　意

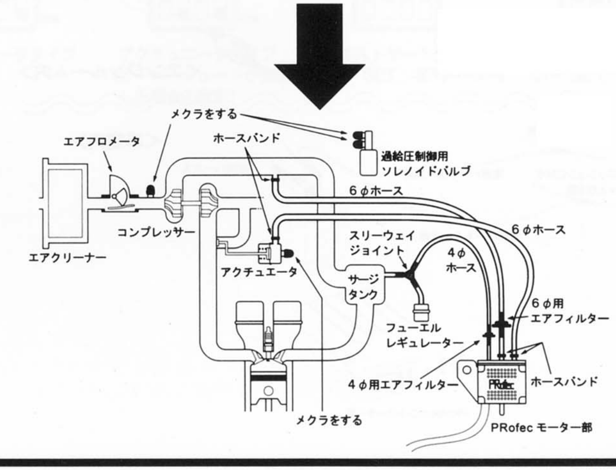
⚠ モーター部は、排気管周りなどの高温となる場所を避け、必ず、サージタンク側やエアクリーナーの周りなど、風通しの良い場所に取り付けて下さい。ブーストが安定しないなど、誤作動の原因となります。（配管が長くなることよりも、風通しの良い場所に取り付けることを優先して下さい。）

アクチュエータ（スイングバルブ）タイプの場合

過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両の配管例②



過給圧制御用ソレノイドバルブがこのような配管の車両は、下図を参考に配管して下さい。



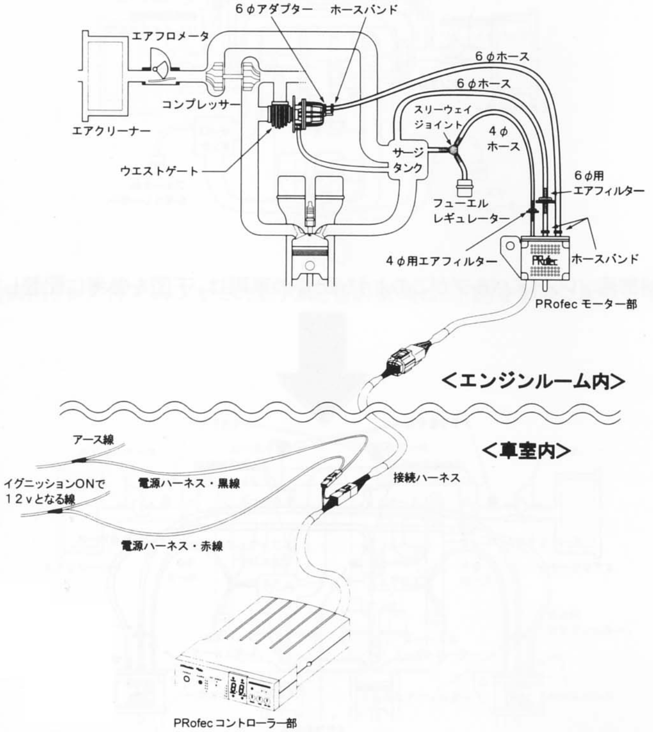
1．取り付け方法

⚠ 注 意

⚠ モーター部は、排気管周りなどの高温となる場所を避け、必ず、サージタンク側やエアクリーナーの周りなど、風通しの良い場所に取り付けて下さい。ブーストが安定しないなど、誤作動の原因となります。（配管が長くなることよりも、風通しの良い場所に取り付けることを優先して下さい。）

ウエストゲート（ポペットバルブ）タイプの場合

下図を参考に配線・配管して下さい。



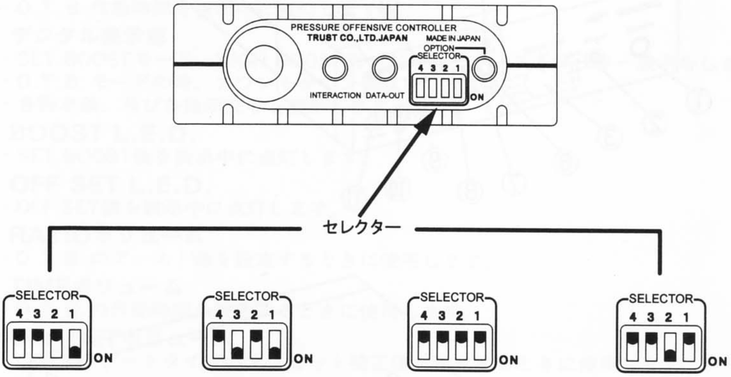
PRofec コントローラー部

2．セレクターの設定

コントローラーバックパネルのセレクターを次のように設定して下さい。

◎アクチュエータタイプの設定は、最初、3 番をOFFで設定して下さい。
オーバーシュートが発生した場合に、3 番をONに設定して学習をやり直して下さい。

◎ウエストゲートタイプのOFF SETの設定は、最初、－50～＋50%に設定して下さい。
±50%以上のOFF SET設定が必要な場合に、－100～＋100%に設定して下さい。



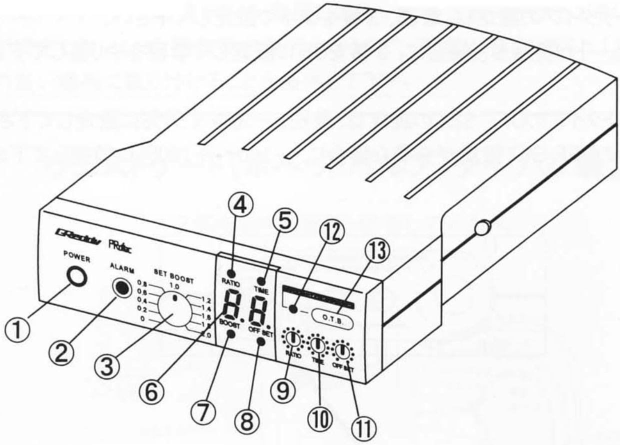
アクチュエータタイプ

アクチュエータタイプ
（オーバーシュートが発生した場合の設定）

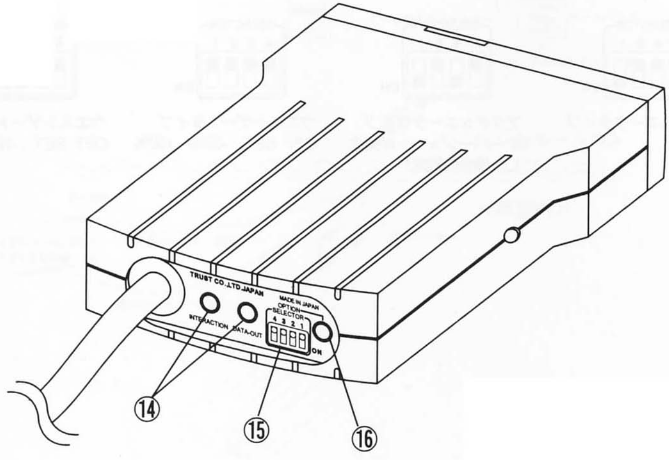
ウエストゲートタイプ
OFF SET : -50%～+50%

ウエストゲートタイプ
OFF SET : -100%～+100%

3．各部の名称



POWER
ALARM
SET BOOST
RATIO
TIME
BOOST
OFF SET
O.T.B.
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬



TRUST CO.,LTD.JAPAN
MADE IN JAPAN
OPTION SELECTOR
4 3 2 1
ON
INTERACTION
DATA-OUT
⑭
⑮
⑯

3．各部の名称

① POWERスイッチ
・電源をON/OFFする事が出来ます。OFFの時にはノーマルブーストになります。
・各設定値の確認をするときに使用します。
・学習時や状態確認時に、学習内容や設定値をメモリーさせるときに使用します。

② ALARM L.E.D.
・ワーニング設定値以上のブーストがかかった場合に警告音と共に点灯します。
・ワーニングポイントを設定するときに点灯します。

③ SET BOOSTボリューム
・学習「P1」の時に、実走行を行わず、ノーマルの最大ブースト値を入力するときに使用します。
・ノーマル以上の目標ブースト値を設定します。

④ RATIO L.E.D.
・O.T.B.ブースト値を表示中に点灯します。

⑤ TIME L.E.D.
・O.T.B.作動時間を表示中に点灯します。

⑥ デジタル表示部
・SET BOOSTモード、HIGH BOOSTモードの時、ブーストメーター表示をします。
・O.T.B.モードの時、カウントダウン表示をします。
・各設定値、及び各指示文字を表示します。

⑦ BOOST L.E.D.
・SET BOOST値を表示中に点灯します。

⑧ OFF SET L.E.D.
・OFF SET値を表示中に点灯します。

⑨ RATIOボリューム
・O.T.B.のブースト値を設定するときに使用します。

⑩ TIMEボリューム
・O.T.B.の作動時間を設定するときに使用します。

⑪ OFF SETボリューム
・ウエストゲートタイプのオフセット補正値を設定するときに使用します。

⑫ O.T.B. L.E.D.
・オーバーテイク作動時に点灯
・HIGH BOOSTモードの時に点灯

⑬ O.T.B.スイッチ
・O.T.B.モードに切り替えるときに使用します。
・HIGH BOOSTモードに切り替えるときに使用します。
・ワーニング・ポイントを設定するときに使用します。

⑭ INTERACTION
・今後、発売される製品と通信するための接続部です。

⑮ SELECTOR（セレクター）
・アクチュエータタイプとウエストゲートタイプを切り替えるときに使用します。
・オフセット補正の増減割合（−50%〜＋50%、−100%〜＋100%）を切り替えるときに使用します。

⑯ OPTIONインターフェイス
・今後、発売される製品と通信するための接続部です。

4．操作の流れ

学習（取り付け直後、またはリセットの後のみ行います。）

↓

●SET BOOSTの設定●
（SET BOOSTボリューム）
●O.T.B.のブースト値の設定●
（RATIOボリューム）
●O.T.B.作動時間の設定●
（TIMEボリューム）

↓

SET BOOSTで走行

↕

O.T.B.作動時間のカウントダウン中
O.T.B.のブースト値で走行

HIGH BOOSTモードで走行

電源OFF時
ノーマルブーストで走行

5．各表示・設定の早見表

表示部

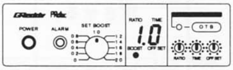
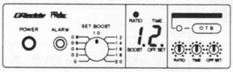
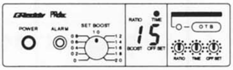
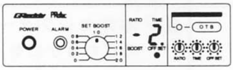
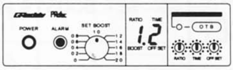
・表示部が正圧を表示中
（この例は、1.25kg/cm²を表示）

点灯の時0.05kg/cm²

・表示部が負圧を表示中
（この例は、-450mmHgを表示）

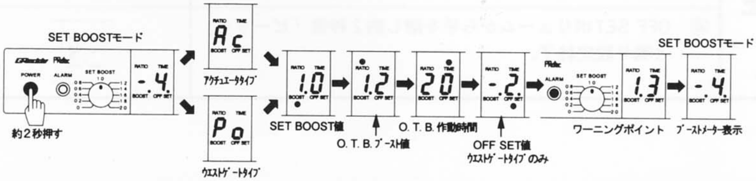
点灯の時50mmHg

設定方法

SET BOOST値 （0.05kg/㎠単位で0.2～2.0kg/㎠）	SET BOOSTボリュームを軽く押し、飛び出した状態にする。 SET BOOSTボリュームを回して設定。 SET BOOSTボリュームを軽く押し込む。	
O.T.B.ブースト値 （0.05kg/㎠単位で アクチュエータ：～2.0kg/㎠ ウエストゲート：～3.0kg/㎠）	RATIOボリュームを回して設定。	
O.T.B.作動時間 （1秒単位で 0秒～30秒迄）	TIMEボリュームを回して設定。	
オフセット補正値 （5％単位で－50%～＋50%と －100%～＋100%を切り換え）	OFF SETボリュームを回して設定。	
ワーニングポイント （0.1kg/㎠単位で 0.2kg/㎠～3.0kg/㎠）	POWERスイッチとO.T.B.スイッチを同時に押す。 O.T.B.スイッチで設定。	

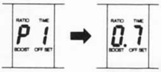
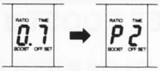
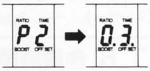
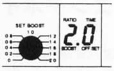
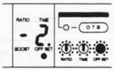
設定値確認方法

・SET BOOSTモードの時に、POWERスイッチを約2秒間押します。



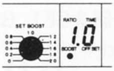
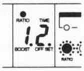
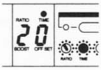
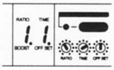
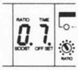
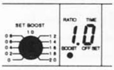
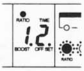
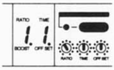
5. 各表示・設定の早見表

操作方法

学習	① ノーマルブーストが最大となるシフトポジション、回転数を調べる。	
	② 学習モードにする。 ・取り付け直後POWERスイッチを押す。 ・学習リセットをする。	
	③ 実走行でノーマル最大ブーストをかける。 表示部を確認しながら最大ブーストが表示されるまで、繰り返す。	
	④ 最大ブーストが表示されたらPOWERスイッチを押し記憶させる。	
	⑤ 再び③と同じ条件（シフトポジション、回転数、etc.）でブーストをかけ実走行を行う。	
	⑥ 学習が成功すると、自動的に学習モードが終了する。	
	学習がうまくできなかった場合は、再び⑤から繰り返す。	
OFF SET 補正	① 本体セレクターを－50%～＋50%と－100%～＋100%のどちらかにセットする。	
	② SET BOOSTを目標とする最大ブースト値に設定する。	
	③ 実走行でブーストをかけ、デジタル表示部の値と②で設定した、ブースト値が一致するように、OFF SETボリュームを回し調整する。	
	④ OFF SETボリュームから手を離し約2秒後「ピーッ！」と鳴り設定終了。	

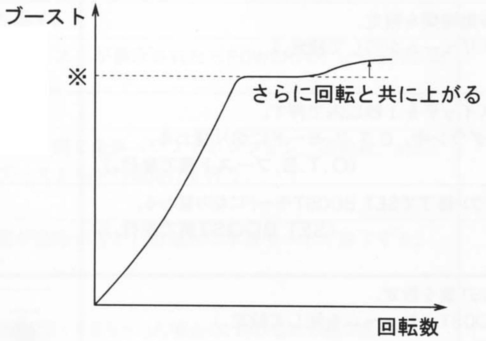
5．各表示・設定の早見表

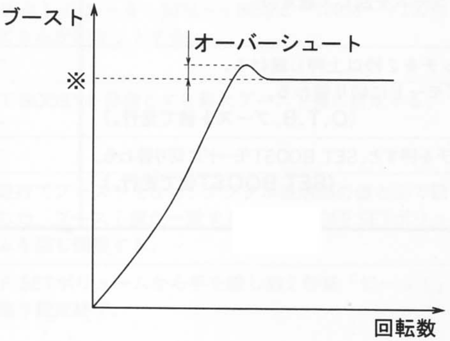
操作方法

O.T.B.モード	① SET BOOST値を設定。 （SET BOOSTボリュームを回して設定。）	
	② O.T.B.ブースト値を設定。 （RATIOボリュームを回して設定。）	
	③ O.T.B.作動時間を設定。 （TIMEボリュームを回して設定。）	
	④ O.T.B.スイッチを1秒以内で押す。 カウントダウン中、O.T.B.モードに切り替わる。 **（O.T.B.ブースト値で走行。）**	
	⑤ カウントダウン終了でSET BOOSTモードに切り替わる。 **（SET BOOST値で走行。）**	
HIGH BOOSTモード	① SET BOOST値を設定。 （SET BOOSTボリュームを回して設定。）	
	② O.T.B.ブースト値を設定。 （RATIOボリュームを回して設定。）	
	③ O.T.B.スイッチを2秒以上押し続ける。 HIGH BOOSTモードに切り替わる。 **（O.T.B.ブースト値で走行。）**	
	④ O.T.B.スイッチを押すと、SET BOOSTモードに切り替わる。 **（SET BOOST値で走行。）**	

6．「Ｐ １」の学習のこつ

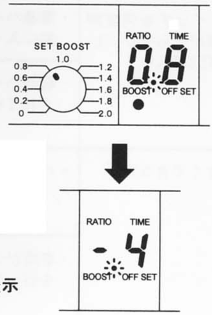
学習がうまく出来ない時、ブーストが次のような上がり方をしている車両は、グラフの※のブースト値をSET BOOSTボリュームで設定し、POWERスイッチを押して、「P1」を終わらせて下さい。





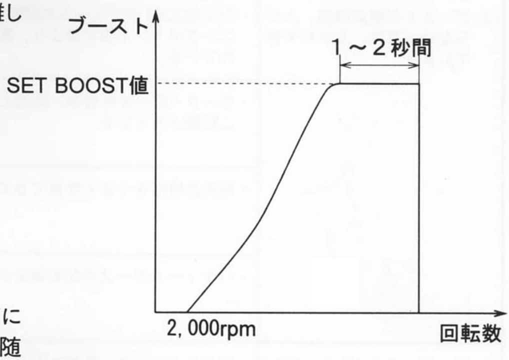
7．随時自動学習のこつ

デジタル表示部中央の点が点滅だと随時自動学習が終わっていないので、ブーストの安定が悪くなったり、SET BOOST値にならない場合があります。

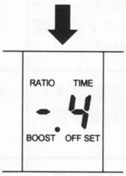


ブーストメーター表示

2,000rpm位から、アクセルを踏み、ブーストをインターセプトさせ、1秒間位ブーストをかけたらアクセルを離します。これを数回行います。



デジタル表示部中央の点が点灯に変われば、そのSET BOOST値の随時自動学習は終了です。



ブーストメーター表示

8．トラブルシューティング

以下の表を参考に、もう一度、確認して下さい。

症　状	考えられる原因	対処方法
① POWERスイッチを何度押しても電源が入らない。(L.E.D.が点灯しない)。	・電源ハーネスの2ピンコネクターが、確実に入っていない。	・コネクターの差込を確実に行う。
	・電源ハーネスの赤線、黒線が確実に接続されていない。	・配線のハンダ付け部分の配線場所、極性、ハンダ付け状態を確認して下さい。
② 学習がうまくできない。	・ハーフスロットルで、学習を行っている。	・フルスロットルでフルブースト迄、ブーストをかけて下さい。
	・車両がシーケンシャルターボの学習方法を行っていない。	・取扱説明書の33ページの「シーケンシャルターボ車両の学習」の方法でブーストをかけて学習を行って下さい。
	・学習時に、選択したギヤでは、最大ブーストがかかっていない。	・ギヤを変えて学習をやり直して下さい。
③ ブーストが設定値迄、上がらない。又は、上がりすぎてしまう。	・SET BOOSTボリュームの設定値が、ワーニングポイント設定値より、高く設定されている。	・ワーニングポイントの設定をやり直して下さい。
	・モーター部が排気管等、高温となる場所に設置されている。	・モーター部をエアクリーナーの近く等、風通しの良い場所に取り付けて下さい。
	・車両の特性をうまく学習できていない。	・学習をやり直して、フルスロットルでフルブースト迄、ブーストをかけて下さい。
	・バキュームホースの配管場所が違う。	・バキュームホースの配管を確認してホースバンドで、確実に接続して下さい。
④ 高いブーストがかかっている時、設定ブーストと実際のブーストが合わない。	・アクチュエータ、ウエストゲートの限界である。	・アクチュエータ、ウエストゲートの仕様を変えて下さい。
⑤ ブーストメータ表示中に「－1」表示したまま動かない。	・接続ハーネスが外れている。	・接続ハーネスのコネクターを確実に接続して下さい。
⑥ O.T.B.モードに切り替わらない。	・TIMEボリュームの設定値が「0」になっている。	・TIMEボリュームの設定を「0」以外にして下さい。

第1版　平成9年2月印刷